

農林水産業の成長産業化に向けて

～経済・財政一体改革について～

平成28年4月25日
森山臨時議員提出資料

農林水産省



水田地域における生産コストの縮減

【事業実施前】

かつて^{がた}濁りが点在する低平地では、湿地に胸までつかりながら農作業を実施。



胸まで泥につかりながらの田植え
(イメージ)

【事業の実施】

排水の改良等により乾田化が図られ、多くの湿地帯を水田等の農地に転換。大区画化も進め、水稻を中心とした農産物の供給源として発展。



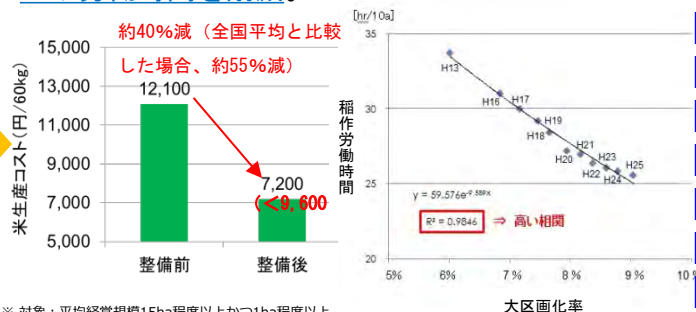
末端部河口で地区全体の排水を担当している新川河口排水機場
(昭和45年竣工、現在改修中)



ほ場整備による大区画化により生産性を向上(イメージ)

【生産コストの縮減】

大区画化等により、担い手の米の生産コストや労働時間を削減。



※ 対象: 平均経営規模15ha程度以上かつ1ha程度以上の大区画で実施した地区 (H22~24年度完了地区)
 ※ 「日本再興戦略」上の担い手の米生産コスト削減目標 16,000円/60kg (23年産米全国平均) \rightarrow 9,600円/60kg

※ 資料: 農林水産省「農業基礎情報基礎調査」、「農業統計調査米及び麦類の生産費」、「耕地及び作付面積統計」、農水省調べ

中山間地域におけるブランド化による高付加価値化

【整備実施前】

急傾斜であるため、かんがい施設も整備されておらず、トラックで何度も水を運ぶ手散布によりかん水。



給水スタンドでタンクに取水
(イメージ)

【事業の実施】

スプリンクラーの共同利用を通じた防除、かん水により大幅に労力の軽減が図られるとともに、天候に左右されない果樹生産を実現。



スプリンクラーによる大幅な省力化



かん水の安定供給を可能とする調整水槽

【付加価値の向上・需要拡大】

干ばつの被害が防止されるとともに、ブランドを拡大させ、1.5倍の売上高を実現。



露地温州みかん作経営の全国平均(約3百万円)の約4倍の戸別平均売上高を誇る。

収益力の向上